

特集

④

「浜コン」明浜で胸キュンしよ♪

心のパンツが脱げるまち協議会・明浜塾 かわら番(広報) 木崎 真近 (西予市明浜)



心のパンツが脱げるまち協議会・明浜塾
略称「マコパン」とは？

西予市明浜在住の情熱に満ちた10名で組織する活動団体の名称です。決してエッチな意味はありません。

篠山紀信は、「グラビア」とは心のパンツを脱ぐことだと言っています。皆さん、想像してみてください。パンツを脱ぐと開放感に満たされるでしょう。また、都会から帰省した時、ホッ！としま

明浜一番の絶景ポイント



すね。故郷の景色、匂い、頬に感じる風、その全てが心地良いです。心のパンツが脱げるまちというのは、そういう開放感と安心感のある気持ちいいまちと

いう意味です。様々な仕掛けを通して『なんか明浜ってホッとするよね♪』って言われるまちにしたのです。

役員は塾長、塾次長、塾生、かわら番(広報)、使用人(事務局)で構成しており、塾長は明浜維新の革命を起こすという壮大な任務を背負っています。役員任期は10年とし再任を妨げません。地域活性化にはヒトの継続が大切なのです。

これまでの活動と気づき

組織の設立当初は、町内で開催されるイベントへの協賛活動が主で、帽子やTシャツを作成し、明浜をPRしていました。平成26年9月には、西予市合併10周年を記念して四国西予ジオパークを満喫するシーカヤック&バイク&ランによるアケハマン決定戦を開催し、市や県内外の参加者に明浜の良さを伝えました。その頃、転機が訪れました。愛媛大学



明浜の夕日

刺さりました。「今まで何も動いてなかったんじゃないか！そうだ、地域が元気にならなくては！」と。

婚活を選んだわけ

平成27年8月末現在、人口3,542人、高齢化率49.2%。これが明浜の厳しい現実です。小学校は今年4月に1校に統合されました。他の過疎地と同様、地域で開催する「祭り」や伝統行事の「亥



の子」の存続が危うくなっています。「ここパン」のかわら番であり、西予市明浜支所地域係であり、現小学校PTA会長である私が言うのですから疑いようのない事実です。

ただ、私が分析をした結果、町内の後継者や独身者にはイケメンや優しい男性が多いのに、恋愛には消極的であることがわかりました。

そう、出会いの場を提供しよう。そして結婚してもらおう。子どもができれば万歳。家族も地域も活気が出る。そう、婚活です！

どうやって仕組むか

役員たちの間での意見が飛び交いました。

Q・西予市が設置する結婚相談所とタイアップすれば？

A・いえ、若者はお節介を敬遠しがちです。

Q・ナイナイのTV番組を呼べば？

A・いえ、男性は想像以上にナイーブです。

Q・みかん狩りツアーで大型バスを構えれば？

A・いえ、外部委託では打ち上げ花火で終わるだけです。

そこで大きな実績のある「えひめ結婚支援センター」の力を借り、「ここパン」が主導で行うことにしました。しかし、行き当たりで企画した第1回目の「浜コン」は参加者不足で開催すらできず。大いに悩み若手の役員を中心に何度も話し合いを重ね、出た結論が

- ①明浜一番の絶景ポイントで行うこと
- ②女性に男性をよく知ってもらうこと
- ③主催者側は自然体に振る舞うこと

でした。洒落たレストランはありませんし、プロの仲人もいません。しかし、ここには素晴らしい景色と決して飾らない男性がいます。

当日は男性陣の普段の仕事ぶりを2分間にまとめたVTRを対面前に女性の方にお見せしました。女性方の男性に対する親近感が一気に高まったのです。

今では地域が全面協力(涙)

開催に当たって少なからず資金が必要だったので、町内4つの自治会に出向き、賛助金の申し出を行いました。しかし、明浜に嫁いで来られた女性役員さんの言葉を今でも覚えています。「お金を捨てる様なことをして何が面白いの？」

と。しかし、丁寧に説明して何とか資金を集め、実質1回目を開催。無事成功！これまで3回の開催で10組のカップルが成立、2組が成婚、今年5月に第1子誕生。今では、申し出を行う前に「今度はいつ開催するの？賛助金はいくら必要なの？」と言ってくる涙です！

「浜コン」のこれから

「浜コン」は女性に人気があり、毎回男性を上回る数の申し込みがあります。また、参加された女性が次回観光で来られるなどの相乗効果もあります。

コツは、綿密な準備・打合せ、当日は男性への後押しと女性へのフォローだと思えます。また、えひめ結婚支援センターとの早めのやりとりは信頼関係を築く上で大切です。

「ここパン」は、今後も試行錯誤を続けながら「浜コン」を続けていきます。全ては、開放感と安心感のある気持ちいい『ホッとするまち明浜』のために……！



成婚者



地元の奥様方も今では進んでお手伝い